



第1回西成特区構想部会（平成30年6月13日開催）

資料1

委員からのご意見・質問と区の考え方

番号	委員	意見・質問等	区の考え方	対応状況
1	吉村委員	【地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業】 認知症高齢者の登録というのは、どのようなシステムで、どこでおこなっているのか。	この事業は、地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業の3つの機能のうちの一つで、認知症高齢者等の行方不明時の早期発見と保護の取組みとして、大阪市から各区の社会福祉協議会へ委託し、「見守り相談室」を設置して事業を進めている。事前に見守り相談室に徘徊が心配される認知症高齢者の方の情報をご家族等により登録いただき、万が一行方不明になられた時に、事前登録いただいた情報を協力者（医療・福祉事業者や企業、民生委員児童委員）へメールやファックスで配信し、早期発見に協力いただくというものである。	<input type="checkbox"/> 30年度に対応 <input type="checkbox"/> 31年度に対応（予定） <input type="checkbox"/> 引き続き検討 <input type="checkbox"/> 対応困難または不可 <input checked="" type="checkbox"/> その他（事業説明）
2	孫委員	【地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業】 西成区は福祉サービスの事業者がとても多いので、ヘルパーの事業所、デイサービス、特別養護老人ホームなどに、改めて協力者・事業者として登録をお願いしてはどうか。特にホームヘルプの事業者は区内を回っているから、発見しやすいという面を持っているので、これを有効活用していくことが、この登録者を増やし、どんな状態になっても暮らしやすい西成区につながってくるのではないかなと思う。	福祉事業者連絡会などへ協力の依頼を行っているが、さらに多くの福祉事業所にご協力いただけるよう、引き続き、様々な機会を通じて繰り返しお願いしていきたい。さらに、民生委員についても各地区の協議会へ出向いて協力依頼を行ってきたが、これも継続して取り組んでいきたい。 また、新たにお願ひできるところを発掘して、協力者を拡大していきたいと考えており、この事業を実施いただいている西成区社会福祉協議会の見守り相談室で郵便局など、いろいろなところへ働きかけを行っていただいている。	<input checked="" type="checkbox"/> 30年度に対応 <input type="checkbox"/> 31年度に対応（予定） <input type="checkbox"/> 引き続き検討 <input type="checkbox"/> 対応困難または不可 <input type="checkbox"/> その他

番号	委員	意見・質問等	区の考え方	対応状況
3	孫委員	<p>【不法投棄対策・迷惑駐輪対策】</p> <p>あいりん地域内にあった不法投棄や不法駐輪などが、周辺地区に広がっているのではないかと思います。周辺地域にどのような影響を及ぼしているのかということも含めて、30年以降も取り組んでいただけたら、さらに効果が上がるのではないかと感じている。</p>	<p>平成30年8月から、ごみの不法投棄防止のため、あいりん地域の公園内に啓発拠点を設置し、運用を開始している。あいりん地域内だけでなく、周辺地域への影響にも注視しつつ、公園内にごみを捨てに来られた方に、ごみ出しのルールやマナーについて啓発し、ごみ出しの本来のルールを知って守っていただくということを丁寧に取り組んでいく。</p>	
4	酒井委員	<p>鶴見橋でも、不法投棄がすごく増えていて、自転車に乗って公園に捨てていく方が結構いる。商店街の役員などが、公園のごみの不法投棄の見守りや啓発をしているので、この頃だいぶ減ってきている。あいりん地域内のごみは減っているかもしれないが、周辺地域に不法投棄が増えていると感じている。西成区全体で取組みをやっていただかないと、一定の地区は減ったけれども外へ行っているだけではいっしょだと思う。</p>		<p><input type="checkbox"/> 30年度に対応</p> <p><input type="checkbox"/> 31年度に対応（予定）</p> <p>■引き続き検討</p> <p><input type="checkbox"/> 対応困難または不可</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p>
5	奥田委員	<p>玉出西公園でも、初めは北の方にごみが置かれていたが、今度は南側の方に多く置かれるようになって、カラスや猫が突いたりしている。</p>		
6	松本委員	<p>【福祉と労働】</p> <p>私どもは、生活困窮者やホームレスの方に内職作業を斡旋しているが、昨年からは、内職作業を企業から請け負うだけでなく、小商いをする企業に場所を貸して、その社長と生活困窮者たちがいっしょに仕事をするということを始めた。この取組みにより、社長は仕事のスペースの確保ができ、生活困窮者たちは仕事のやる気や生きがいにつながっている。これを活かして、単身高齢生活保護受給者の社会的つながり事業においても、これまではひと花センターで居場所づくりやつながりづくりを基本にしていたが、年をとっても働いていくという仕事の側面につなげていけないか。</p>	<p>単身高齢生活保護受給者の社会的つながりづくり事業は、無償のボランティアで地域貢献をさせていただいている。掃除やイベントのお手伝いなどで評価をさせていただいているが、ご自身が自分の生きがいとして、地域あるいは仕事に関わっていくことは重要なことである。ご提案については、いろいろな課題もあるが、精査しながら前向きに検討させていただきたい。</p>	<p><input type="checkbox"/> 30年度に対応</p> <p><input type="checkbox"/> 31年度に対応（予定）</p> <p><input type="checkbox"/> 引き続き検討</p> <p><input type="checkbox"/> 対応困難または不可</p> <p>■その他（公募の際に提案があれば検討）</p>

番号	委員	意見・質問等	区の考え方	対応状況
7	孫委員	<p>【西成特区構想】</p> <p>西成特区構想は、あいりん地域対策のようなイメージがあったが、次期構想のモデル事業案を見るとそうではないと受け止めた。我々区民がすべきことは、特区にならい、自分たちでできることをいかに提案するかだと思う。ただ、その提案場所がよくわからない。また、場所や資源をつくっても、人の問題や、コーディネートをどこでしていただけるかもわからないので、このあたりを解決できれば、西成特区構想は、やっぱり西成区全体をよくするための施策だと改めて理解ができると思う。</p>	<p>西成特区構想は、あいりん地域だけではなくて、西成区全体の様々な課題に対し、取り組んでいる。まずは、不法投棄や迷惑駐輪などの課題があいりん地域にあったので、そこから取組みを進めていったが、今後はモデル事業を行い、成功事例をもとにさらに広めていきたいと考えている。今後も、こうした場において、皆さまからのご意見やアイデアをいただきながら、一歩ずつ進めていきたい。</p>	<p><input type="checkbox"/> 30年度に対応</p> <p><input type="checkbox"/> 31年度に対応（予定）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 引き続き検討</p> <p><input type="checkbox"/> 対応困難または不可</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p>
8	山田委員	<p>西成区は以前よりすごく変わった。これまでの成果が出ていて、すごく住みやすくなった。ただ、サイレンの音が聞こえて、警察が走り回っているイメージがある。あとは、緑があればもっときれいだと思う。今後は、西成区全体のイメージがもっと変わればと思うので、一歩一歩進めていただきたい。</p>		
9	若林委員	<p>【プレーパーク事業】</p> <p>9月に今宮で、3世代交流のプレーパーク事業の出前出張というものを予定している。そこでまた成功すれば、他の連合地域でもやっていただけたらと思う。やっぱり、子どもの笑顔があれば、また違ってくると思う。</p>	<p>プレーパークは、去年の実績では約3割が区外から来られているので、たくさんの方に認知されてきている。今後も様々な機会を通して、プレーパークを広げていきたいと考えている。</p>	<p><input type="checkbox"/> 30年度に対応</p> <p><input type="checkbox"/> 31年度に対応（予定）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 引き続き検討</p> <p><input type="checkbox"/> 対応困難または不可</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p>



第2回西成特区構想部会（平成30年7月11日開催）

委員からのご意見・質問と区の考え方

番号	委員	意見・質問等	区の考え方	対応状況
10	孫委員	【単身高齢者の社会的つながりづくり】 単身高齢生活保護受給者の社会的つながりづくり事業などは、現在区役所主導で行っているが、この先、西成区の住民が減って、区役所の規模も今のままではないので、区役所や社会福祉協議会は仕組みを提案するなど、人を出すのではなく知恵を出し、住民がその知恵をもとに、いっしょになって運営をしていく。最終的には住民主体の運営がおもしろいと思う。	当事業は、地域と疎遠で孤立しがちである単身高齢生活保護受給者と地域とのつながりをつくることを目的とし、企画や運営については、行政の押し付けでなく支援団体等のノウハウを活かしていただくため、プロポーザルにより事業者を募り実施している。事業開始から6年を経過し、地域との信頼関係も築かれつつある。ご意見を踏まえ、今後一層効果が上がるよう、地域の知恵や経験を活かした取組みを進めてまいりたい。	<input type="checkbox"/> 30年度に対応 <input type="checkbox"/> 31年度に対応（予定） <input checked="" type="checkbox"/> 引き続き検討 <input type="checkbox"/> 対応困難または不可 <input type="checkbox"/> その他
11		特別養護老人ホームでは、入居者の衣類の洗濯や夜間警備に高齢者を雇用している。生活保護受給者にこういった仕事を回して、生活をもっと充実させていただくというのはいかがでしょうか。区内に特別養護老人ホームは9カ所、社会福祉法人は20カ所もあるのに、このような資源が使われていないと思う。	高齢の生活保護受給者の就労については、本人の就労意欲と健康状態を勘案し就労につなぐことにより、「社会参加・生きがいづくり」につながるものと考えている。 ご提案のとおり、区内で活動されている多数の社会福祉法人や企業、福祉事業者、NPOといった各種団体は、非常に有用な社会資源である。 就労の機会提供という点においても、今後連携した取組みの可能性について、検討を進めてまいりたいと考えている。	<input type="checkbox"/> 30年度に対応 <input checked="" type="checkbox"/> 31年度に対応（予定） <input type="checkbox"/> 引き続き検討 <input type="checkbox"/> 対応困難または不可 <input type="checkbox"/> その他
12		特別養護老人ホームなどを運営するのは社会福祉法人であり、近年、社会福祉法の改正により、地域の公益活動に投資をするよういわれているが、どこに活動をする人がいるかを知らないで、区役所や社会福祉協議会后押ししていただけたらと思う。	区としても社会福祉法人の地域における公益的な取組みには期待するところであり、法人からご相談があれば、区社会福祉協議会（生活支援体制整備事業）とも連携して、活動とのマッチング等に協力していきたいと考えている。	<input type="checkbox"/> 30年度に対応 <input type="checkbox"/> 31年度に対応（予定） <input checked="" type="checkbox"/> 引き続き検討 <input type="checkbox"/> 対応困難または不可 <input type="checkbox"/> その他

番号	委員	意見・質問等	区の考え方	対応状況
13	松本委員	【ホームレスへの支援】 現在、ホームレスの方の数が減り、逆に施設に入られる高齢者が 増えている状況にある中で、ホームレスの方が、認知症の高齢者の 食事の見守りなどの仕事に就いて長く続けているという事例もある。 こういった雇用の機会を区役所や社会福祉法人で調整いただ ければ、ホームレス問題の解決につながっていくと思う。	ホームレスの方々への自立支援については、福祉局において、相 談員による市内の巡回や面接相談を行うとともに、就労の意欲の ある方には自立支援センターへの入所を図るなどの支援を行ってい るが、区としても、福祉局や社会福祉法人等と連携して進めてま いりたい。	<input type="checkbox"/> 30年度に対応 <input type="checkbox"/> 31年度に対応（予定） <input checked="" type="checkbox"/> 引き続き検討 <input type="checkbox"/> 対応困難または不可 <input type="checkbox"/> その他
14	吉村委員	【違法民泊通報窓口】 民泊の件で、このたび法律が変わってより厳しくなる方向だが、違 法民泊の通報や苦情は区のほうに届くようになっているのか。	民泊の相談窓口については、保健所に専用の相談のセクションが あり、区役所に相談の連絡があった際には、保健所を紹介させて いただいている。また、保健所においては、6月に、違法民泊撲滅 チームを浪速区役所の中に立ち上げ、住民からの苦情等をもとに 現地の確認等も行っている。	<input type="checkbox"/> 30年度に対応 <input type="checkbox"/> 31年度に対応（予定） <input type="checkbox"/> 引き続き検討 <input type="checkbox"/> 対応困難または不可 <input checked="" type="checkbox"/> その他（事業説明）
15	吉村委員	【西成区魅力発信事業】 外国人が多いので、観光案内スペシャリストなど、ガイドの取組み をされているが、通訳ボランティアなどの取組みの状況について教え ていただきたい。	観光案内スペシャリストの養成講座については、平成29年10月 に阪南大学と協定を締結し、専門教授の指導のもと講座を開催 した。通訳については、今後より実践的な段階になれば必要となっ てくるため、引き続き大学等とも連携しながら取組みを検討してい きたい。	<input type="checkbox"/> 30年度に対応 <input type="checkbox"/> 31年度に対応（予定） <input checked="" type="checkbox"/> 引き続き検討 <input type="checkbox"/> 対応困難または不可 <input type="checkbox"/> その他
16		【結核対策】 結核対策については、区でも非常に力を入れていただいているが、 今一番の問題は、西成区内に結核患者を緊急避難的に入院させ る病院がないことである。数年後に社会医療センターが建て替え になったときに感染症ベッドが幾つかできて、緊急避難的な治療が できると伺ったが、その点について教えていただきたい。	社会医療センターは、福祉局が所管しており、外部団体の社会医 療センターが運営をしている病院である。新病院については、陰圧 室という、菌が出ない部屋を4室設け、検査期間中に感染が広 がらないような体制で処置できる部屋を整えたと聞いている。また、 診断後は専門病院に転送、あるいは通院しながら服薬を確認し て治療効果が上がるような療法があるということも聞いている。	<input type="checkbox"/> 30年度に対応 <input type="checkbox"/> 31年度に対応（予定） <input type="checkbox"/> 引き続き検討 <input type="checkbox"/> 対応困難または不可 <input checked="" type="checkbox"/> その他（事業説明）